

大型クラゲ情報

**全域で減少傾向。
 多いところでは日によって1,000個以上の入網。**

(1) 県内の出現状況 (水産振興課・各水産事務所・普及所調べ、12月25日現在)

- ・県内各海域の定置網等への入網状況は下表のとおり。
- ・全域で減少傾向にありますが、日本海、太平洋北部、太平洋南部では日によって1,000個を超える入網があります。
- ・傘の大きさは県内全域で30cmから150cmと幅があります。縮んで堅くなった個体や砕けた個体が多く見られていますが、依然として活力のある個体も少なからず確認されています。
- ・波浪等により急増することも考えられますので、各域とも引き続き注意が必要です。

表 大型クラゲの出現状況 (定置網等の1ヶ統あたりの入網数)

日 / 海域	日本海	海峡東部	太平洋北部	太平洋南部
12月17日	1,000以上	5~8	300	500~1,000
12月18日	100~800	3~4	105	
12月19日	-	1	-	
12月20日	600	-	-	200~500
12月21日	-	-	-	
12月22日	1,000以上	1~2	1,000	
12月23日	100~1,000以上	-	30~1,000	



「-(ハイフン)」は時化等により操業なし、又は漁協調査中を表す。

(2) 全国の出現状況 (漁業情報サービスセンター (JAFIC) 調べ、12月25日現在)

- ・日本海側では、島根県、若狭湾周辺、富山湾、秋田県の沿岸部で定置網等に1,000個以上の入網が続いていますが、まとまった出現の報告は、次第に減っています。

(3) 駆除の状況 (青森県、県漁連、青森県定置漁業協会 12月28日現在)

- ・鱒ヶ沢町、六ヶ所村の底建網、定置網等で引き続き駆除を実施しています。